

令和7年度 第2回国分寺市健康増進計画評価等委員会要点記録

日 時	令和7年9月18日(木) 19:00-21:10
場 所	いずみプラザ2階講座室
出席委員	後藤委員長 奥山副委員長 都筑委員 笠原委員 岡田委員 千一委員 新井委員
欠席委員	なし
事 務 局	健康推進課(課長:占部、係長:芦田、柴田)
配布資料	第2回国分寺市健康増進計画評価等委員会 次第 資料1 委員意見一覧(基本施策) 資料2 基本施策進捗管理シート新旧対照表 資料3 第2次国分寺市健康増進計画進捗状況確認報告書案(令和6年度)

次 第

- 1 令和 6 年度進捗状況に対する委員意見について
- 2 国分寺市健康増進計画進捗状況確認報告書（案）について

内容

- 1 令和 6 年度進捗状況に対する委員意見について

事務局より資料 1 及び 2 を用いて説明

事務局より、前回提出された 8 件の意見と、それを反映した報告書（案）について説明。

以下主な委員意見

○こころの体温計

（岡田委員）こころの体温計の数値については社会的背景を要因として数値が変化するものであり、そういった視点を持って数値の分析をするのも大事だと考える。

（後藤委員長）短期的な数値の変化も大切だが、計画期間 6 年間での変化も追っていく必要がある。

○健康教育

（奥山副委員長）行動科学を活用したところに関して、こういう取組が大事だと考えるので、今後も行っていくべきだと考える。

（後藤委員長）まずは実行するということの啓蒙が大事であると考えている。加えて、6 年後にはやったやらないだけではなくて、やった結果どうなのかっていうところまで分析できればよいと考える。

○市民農園

（チー委員）市民農園は、私の周りではやりたい人がとても多く、市民農園にいつも外れてしまったという方もいる。第 1 回の資料では、市民農園の数が減っていたので疑問を抱いていたが、民間企業開設型とかを含めた数でみると、徐々に増えていることを理解した。

（後藤委員長）数の推移を見ると、減っている増えているという背景も踏まえて数字を見ていかないと、食育に関する取組の実態として、全体的に増えているのか減っているのかということがわからないなと感じた。市民農園以外の類型についても示していただいたことは、ありがたい。

こちらをもともと把握する対象であった市民農園以外の類型についても把握し、実績を把握していく方向でよいと考える。

- 2 国分寺市健康増進計画進捗状況確認報告書（案）について

各事業は概ね順調に進捗していることを確認した。一部事業では、指標の精度向上や分析の充実が必要であることを確認し、それを助言として付すことを承認した。委員会としては、これらの助言を踏まえ、今後、さらに事業充実を期待することで了承した。

報告書案について全会一致で了承。他計画等との関係で、文言等の最終調整が必要の際には委員長に一任することで了解された。

令和7年度
第2回国分寺市健康増進計画評価等委員会 次第

日時：令和7年9月18日（木）

午後7時00分開始

会場：いずみプラザ2階講座室

開 会

1 令和6年度進捗状況に対する委員意見について

2 国分寺市健康増進計画進捗状況確認報告書（案）について

資 料

- ・ 資料1 委員意見一覧（基本施策）
- ・ 資料2 基本施策進捗管理シート新旧対照表
- ・ 資料3 第2回国分寺市健康増進計画進捗状況確認報告書案（令和6年度）

委員意見一覧（該当箇所のみ抜粋）

施策構成事業の前年度の状況分析（事業対象年度：令和6年度）					
No	分野	施策	該当事業名	委員意見（要旨）	委員会助言（案）
1	からだ・こころの健康	1・2・3 4・6	産婦・育児相談 （1度の出産で1 度のみ参加可能）	参加率を算出するための分子に「実人数」を用いていることを表へ追記したほうが良いように思います。もし延べ人数も確認できるのであれば、延べ人数でも参加率を算出し両方を併記するのも良いように思いました。	より効果的な進捗管理・最終評価を行えるように、産婦・育児相談の事業内容として「産婦が1回の出産で1回のみ参加できる事業である」ことを追記し、今後の進捗管理を行うべきである。
2	からだ・こころの健康	1・3・4	こころの体温計	別添いただいた資料①（こころの体温計の利用状況の分析）を拝見すると、女性の30～50代の利用者が多い傾向にあることが読み取れ大変興味深いと感じました。アクセスする人には性別と年齢で異なることが分かりましたので、「誰に対してアクセスを促すことが有効か？」を議論できるように（評価できるように）、男女別かつ年代別のアクセス数の推移も引き続き別添で資料があると良いように思いました。年代は、「10～20代」「30～40代」「50～60代」くらいの3区分でも良いかも知れません。	より実効性のある形で進捗を把握し、最終的な評価につなげることができるよう、具体的に「誰に対してアクセスを促すことが有効か」わかるように男女別かつ年代別のデータの分析も必要と考える。
3	からだ・こころの健康	1・6	行動科学を活用した健康づくり普及・啓発事業	がん検診や健康診査の案内における取組が確認できた。また、今後の方向性についても、引き続き行動変容を促す取組の検討が示されている。については、本取組の成果は、第2次健康増進計画の計画成果指標である「（2）主観的健康観」の向上に影響を与えることが見込まれるものであるため、検診等の案内に留まらず、ぜひ広く0次予防となるような取組等への活用を期待する。	行動科学を活用した健康づくり普及・啓発について、広く「ゼロ次予防」につながるよう、さまざまな取組での検討・実施を促していくべきである。
4	からだ・こころの健康	3・4・6	産後ケア事業	実施状況の評価指標として、「利用者数（実数）」を軸にした利用率の推移と「世帯（利用人数の実数）」の推移の両方を表で管理していくのは、いかがでしょうか。評価指標に現状のまま世帯を採用するなら、世帯数のカウントの仕方（利用人数の実数で世帯数を算出していること）を明示的に記載しておく必要があるように思います。いずれにしろ、算出した根拠を明確に示す必要はあるように思います。	産後ケアについて、必要とする世帯へサービスが行き届いているのかを確認するために「利用世帯数」に加えて、「利用率（世帯数※/利用登録世帯数）」（※世帯数＝利用者数の実数）も併記すべきである。
5	歯と口の健康	1	乳幼児歯科相談 （2歳半・3歳半 歯科健康診査）	受診率の分母における対象年齢が実施月によって変動するのであれば、「委員質疑回答」で記載して下さったように、対象者の年齢別に2歳半と3歳半に分けて受診率を両方併記するのは、いかがでしょうか。その方が、今後受診率を上げるために「特に受診勧奨をした方が良いターゲット層はどこか？」という議論がしやすくなるように感じます。	より具体的な課題抽出と効果的な改善策の策定を行うため、受診者の年齢別に2歳半と3歳半それぞれの受診率も併記すべきである。
6	歯と口の健康	1	3歳児健康診査	受診率の算出には、分子と分母に何の数字を用いているのか、明確に表記したほうが良いように感じました。	評価指標の受診率の算出方法を明記すべきである。
7	歯と口の健康	2	成人健康講座 （歯科医師などによる 歯科保健健康教育、 歯科衛生士による 個別相談等を実施）	担当課のコメントに「出前講座の開催数が減ったことにより参加者数が減少した」とありますので、参加者数の推移のみではなく、参考情報として、実際の講座の開催回数も併記しては、いかがでしょうか。その数値がある方が、参加者数の増減がなぜ起きたのか、議論しやすくなると思います。	評価指標は講座参加者数であるが、参加者数の増減には講座の実施回数が大きく影響する。今後は参加者数の推移に加え、講座の開催回数についても併せて表記すべきである。
8	健康を支える食育	1	市民農園	市民農園は減少している一方で民間農園は増加傾向にあるため、評価指標としては、市民農園では無く合計区画数にしては、いかがでしょうか。おそらく、公営の農園の利用を増やすことが目的ではなく、主目的は農園を利用することによる「食育の推進」かと思うので、その点で事業評価が出来るように評価軸を少し変えてみてはどうかと考えた次第です。	主目的は農園を利用することによる「食育の推進」であることから、現状の評価指標は（公営の）市民農園の区画数としているが、今後については民間企業開設型や農家体験型の区画数も合わせた区画数も併せて表記すべきである。

基本施策進捗管理シート新旧対照表

【旧】(第 1 回会議資料)

施策構成事業の前年度の状況分析（事業対象年度：令和6年度）								
No	該当事業名	事業活動指標				当該年度の傾向 (前年度比)	指標の結果となった分析と 新たな取組の方向性	委員会助言（案）
			ベース ライン値 (R4)	R5	R6			
1	産婦・育児相談	参加率	40.30%	34.80%	30.90%	↘	産婦・新生児訪問の実施率の向上、相談場所の増加により参加率は下がっている。令和7年度より、中部地区拠点親子ひろば、西部地区拠点親子ひろばの2箇所です約制で回数を増やして実施し、より身近な場所で参加できるよう工夫していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
2	こころの体温計	年間アクセス件数	24,923件	89,112件	61,670件	↘	令和5年度と比較すると、アクセス件数は減少しているが、毎月4,000～5,000件近くのアクセスがあった。引き続き、庁内のデジタルサイネージの活用など周知方法を工夫していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
3	行動科学を活用した健康づくり普及・啓発事業	実施 健（検）診の勧奨や、健康づくりの普及啓発等において、ナッジ等の行動科学の知見を活用した取組を行います。	新規	—	実施	-	がん検診募集市報記事に健診の費用を掲載し、受診の利益を実感できるようにした。健康診査個別受診券送付の封筒や勧奨通知に、「あなたと、あなたの大切な人のため、年に1度は健診を」の文言を加え、健診受診の動機付けを行った。引き続き、行動変容を促す取組を検討し、普及啓発に努めていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
4	産後ケア事業	利用世帯数	159世帯	224世帯	265世帯	↘	事業に対する関心の高まりから希望者が増加している。令和7年度より委託事業者の増加、アウトリーチ型も開始し、さらなる支援の充実を図る。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
5	乳幼児歯科相談（2歳半・3歳半歯科健康診査）	受診者数	133人	144人	106人	↘	共働きの家庭も増加していること、医療機関でも歯科健診が行われていることから受診数は減少している。今後も歯科保健の側面から支援できるよう実施していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
6	3歳児健康診査	歯科受診率	101.90%	91.80%	94.90%	↗	今後も集団健診として継続して事業を実施する。未受診者について、受診勧奨を継続して実施する。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
7	成人健康講座（歯科医師などによる歯科保健健康教育、歯科衛生士による個別相談等を実施）	歯科講座・出前講座参加者数（計）	121人	133人	27人	↘	令和6年度は、機構改革により、母子保健分野の講座実績が減となった。また、歯科に係る出前講座の依頼が少なかった。引き続き、普及啓発に努めていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
8	市民農園	農園数、区画数	4農園 330区画	4農園 330区画	3農園 280区画	↘	1農園が廃止となり区画数が減少した。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。

【新】(第2回会議資料)

施策構成事業の前年度の状況分析（事業対象年度：令和6年度）								
No	該当事業名	事業活動指標				当該年度の傾向 (前年度比)	指標の結果となった分析と 新たな取組の方向性	委員会助言（案）
			ベース ライン値 (R4)	R5	R6			
1	産婦・育児相談 （1度の出産で1度のみ参加可能）	参加率 (参加人数/対象者数)	40.32%	34.78%	30.93%	↘	産婦・新生児訪問の実施率の向上、相談場所の増加により参加率は下がっている。令和7年度より、中部地区拠点親子ひろば、西部地区拠点親子ひろばの2箇所です約制で回数を増やして実施し、より身近な場所で参加できるよう工夫していく。	より効果的な進捗管理・最終評価を行えるように、産婦・育児相談の事業内容として「産婦が1回の出産で1回のみ参加できる事業である」ことを追記し、今後の進捗管理を行うべきである。
2	こころの体温計	年間アクセス件数	24,923件	89,112件	61,670件	↘	令和5年度と比較すると、アクセス件数は減少しているが、毎月4,000～5,000件近くのアクセスがあった。引き続き、庁内のデジタルサイネージの活用など周知方法を工夫していく。	より実効性のある形で進捗を把握し、最終的な評価につなげることができるよう、具体的に「誰にに対してアクセスを促すことが有効か」わかるように男女別かつ年代別のデータの分析も必要と考える。
3	行動科学を活用した健康づくり普及・啓発事業	実施 健（検）診の勧奨や、健康づくりの普及啓発等において、ナッジ等の行動科学の知見を活用した取組を行います。	新規	—	実施	-	がん検診募集市報記事に健診の費用を掲載し、受診の利益を実感できるようにした。健康診査個別受診券送付の封筒や勧奨通知に、「あなたと、あなたの大切な人のため、年に1度は健診を」の文言を加え、健診受診の動機付けを行った。引き続き、行動変容を促す取組を検討し、普及啓発に努めていく。	行動科学を活用した健康づくり普及・啓発について、広く「ゼロ次予防」につながるよう、さまざまな取組での検討・実施を促していくべきである。
4	産後ケア事業	①利用世帯数※ ※世帯数＝利用人数の実数 ②利用率 (世帯数/利用登録世帯数)	①159世帯 ②88.8%	①224世帯 ②89.2%	①265世帯 ②82.6%	↗	事業に対する関心の高まりから希望者が増加している。令和7年度より委託事業者の増加、アウトリーチ型も開始し、さらなる支援の充実を図る。	産後ケアについて、必要とする世帯へサービスが行き届いているのかを確認するために「利用世帯数」に加えて、「利用率(世帯数※/利用登録世帯数)」(※世帯数＝利用者数の実数)も併記すべきである。
5	乳幼児歯科相談（2歳半・3歳半歯科健康診査）	①受診者数 ②2歳半受診率 (受診者数/対象者数) ③3歳半受診率 (受診者数/対象者数)	①133人 ②3.1% ③1.7%	①144人 ②3.6% ③2.1%	①106人 ②2.9% ③1.6%	↘	共働きの家庭も増加していること、医療機関でも歯科健診が行われていることから受診数は減少している。今後も歯科保健の側面から支援できるよう実施していく。	より具体的な課題抽出と効果的な改善策の策定を行うため、受診者の年齢別に2歳半と3歳半それぞれの受診率も併記すべきである。
6	3歳児健康診査	歯科受診率 (当該年度受診者数/対象者数)	101.90%	91.79%	94.86%	↗	今後も集団健診として継続して事業を実施する。未受診者について、受診勧奨を継続して実施する。	評価指標の受診率の算出方法を明記すべきである。
7	成人健康講座（歯科医師などによる歯科保健健康教育、歯科衛生士による個別相談等を実施）	①歯科講座・出前講座参加者数（計） ②講座実施回数	①121人 ②8回	①118人 ②7回	①103人 ②6回	↘	出前講座の開催数が減ったことにより参加者人数が減少した。出前講座は、開催減には講座の実施回数が大きく影響する。今後は希望の申込みが前提であるため、同講座の参加者数の推移に加え、講座の開催回数についても併せて表記させていく。	評価指標は講座参加者数であるが、参加者数の増加者人数が減少した。出前講座は、開催減には講座の実施回数が大きく影響する。今後は希望の申込みが前提であるため、同講座参加者数の推移に加え、講座の開催回数についても併せて表記すべきである。
8	市民農園	①農園数、区画数 ②農家開設型市民農園、民間企業開設型市民農園、農業体験農園を含む合計農園数、合計区画数	①4農園、330区画 ②13農園、847区画	①4農園、330区画 ②14農園、982区画	①3農園、280区画 ②12農園、941区画	↘	市民農園については1農園が廃止となり区画数が減少した。一方で、民間企業開設型市民農園、農業体験農園については増加している。	主目的は農園を利用することによる「食育の推進」であることから、現状の評価指標は(公営の)市民農園の区画数としているが、今後については民間企業開設型や農家体験型の区画数も合わせた区画数も併せて表記すべきである。

(案)

令和 7 年 11 月 ○ 日

国分寺市長 丸山 哲平 様

国分寺市健康増進計画評価等委員会

委員長 後藤 英子

第 2 次国分寺市健康増進計画令和 6 年度進捗状況確認報告書について

国分寺市健康増進計画評価等委員会設置要綱第 2 条に基づき、本委員会において第 2 次国分寺市健康増進計画に定める施策及び事業の令和 6 年度進捗状況を確認しましたので、その結果について報告いたします。

記

本委員会において、第 2 次国分寺市健康増進計画に定める施策及び事業の令和 6 年度進捗状況を確認した結果、いずれも概ね順調に進捗していることを確認しました。

いくつかの事業については、より実効性のある効果検証につなげ、最終評価を行うため、活動指標の充実等について意見を付しております。これらを踏まえ、各事業の充実につなげられることを期待します。

<添付資料>

- ・「第 2 次国分寺市健康増進計画進捗状況確認報告書（令和 6 年度）」

第2次国分寺市健康増進計画

施策進捗状況管理シート

(令和6年度)

国分寺市健康増進計画評価等委員会

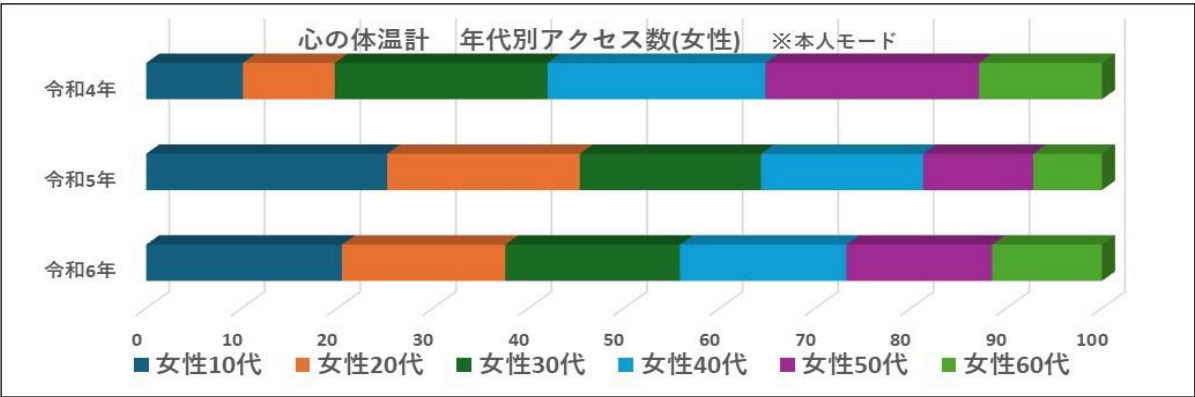
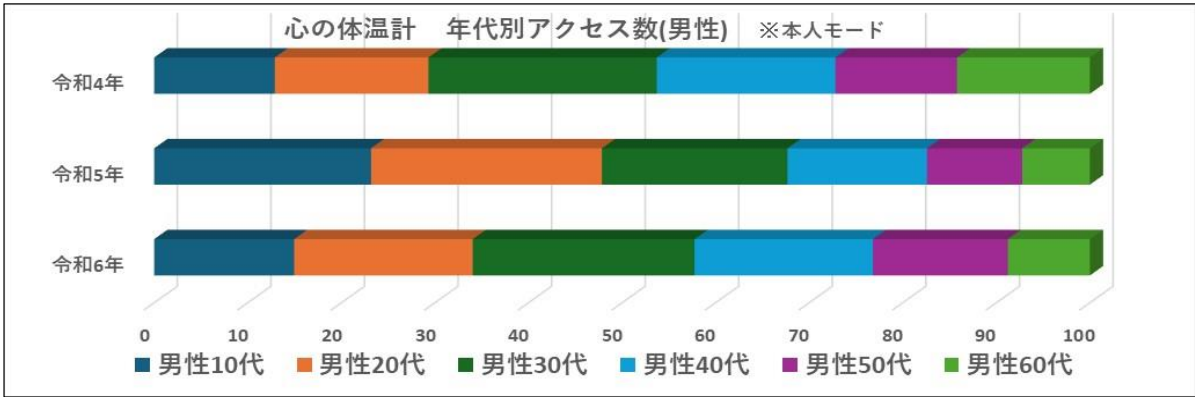
資料 32/24

第2次国分寺市健康増進計画 基本施策進捗管理シート(対象施策:からだ・こころ 施策1)

該当分野	からだ・こころ									
基本目標	いきいき健やかな暮らしを目指し、ライフコースを踏まえて、からだところの健康を保持・増進します。									
該当施策	1：健康に対する意識を高め、市民が主体的に健康に結びつく行動を起こせるように的確な情報提供を強化し、デジタル技術等も活用した効果的な健康増進の実践につながる支援を行います。									
施策構成事業の前年度の状況分析（事業対象年度：令和6年度）										
No	該当事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	当該年度 の傾向 (前年度比)	指標の結果となった分析と 新たな取組の方向性	委員会助言		
1	ゆりかご・こくぶんじ	面接率 (面接実施数/妊娠届出数)	100.44%	106.61%	101.02%	↘	オンライン予約とし、オンライン・対面で面接を実施。ほぼ全数の方と面接ができており、今後も継続して全数面接を行っていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
2	両親学級	推定受講率 (全受講者数/母子健康手帳交付数)	61.14%	64.84%	79.66%	↗	参加者は変わらず60%以上を維持できている。令和7年度より公募型協働事業として平日夜間や土日に回数を増やして実施する。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
3	両親学級での飲酒・喫煙リスクの情報提供	実施	実施	実施	実施	-	妊娠中は健康に対する意識が高まる時期であり、引き続き情報提供を実施していく。令和7年度より公募型協働事業として回数を増やし実施、少ない人数に対し詳しく説明することが可能となる。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
4	産婦・育児相談 (1度の出産で1度のみ参加可能)	参加率 (参加人数/対象者数)	40.32%	34.78%	30.93%	↘	産婦・新生児訪問の実施率の向上、相談場所の増加により参加率は下がっている。令和7年度より、中部地区拠点親子ひろば、西部地区拠点親子ひろばの2箇所で予約制で回数を増やして実施し、より身近な場所で参加できるよう工夫していく。	より効果的な進捗管理・最終評価を行えるように、産婦・育児相談の事業内容として「産婦が1回の出産で1回のみ参加できる事業である」ことを追記し、今後の進捗管理を行うべきである。		
5	成人健康講座（健康増進法に基づく成人健康教育）	参加者アンケートの満足度 参加者に対して、満足+やや満足の回答数の割合 (「満足+やや満足」と回答した人数/アンケート回答者数)	97.80%	90.20%	87.50%	↘	アンケートは、講座途中退席や後日配信による未回収があるものの、アンケート回答者における満足度は97%であり、満足度は高い。引き続き、満足度の高い講座を提供を維持していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
6	栄養講座（健康増進法に基づく成人健康教育）	参加者アンケートの満足度 「今後の生活の参考にできそうなことは、ありましたか。」との問いに「はい」と回答した数の割合 (「はい」と回答した人数/参加者数)	84.13%	85.94%	60.53%	↘	令和6年度より、全ての栄養講座でオンライン配信を開始し参加者数は微増した。しかしながらそれと同時に、講座中の途中退出者等によるやアンケート未回答者数が増加した。アンケート回答者の満足度は91.84%（49人中45人）と高水準を維持しているため、今後も引き続き、満足度の高い講座を提供を維持していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
7	こころの体温計	年間アクセス件数	24,923件	89,112件	61,670件	↘	令和5年度と比較すると、アクセス件数は減少しているが、毎月4,000～5,000件近くのアクセスがあった。引き続き、庁内のデジタルサイネージの活用など周知方法を工夫していく。	より実効性のある形で進捗を把握し、最終的な評価につなげることができるよう、具体的に「誰に対してアクセスを促すことが有効か」わかるように男女別かつ年代別のデータの分析も必要と考える。		
8	健康リスク回避に向けた周知・啓発事業	実施	実施	実施	実施	-	5月世界禁煙デーに合わせて、ぶんバスポスターの掲示とヘルスアップ通信に記事を掲載。ヘルスアップ通信9月号には、アルコール適正摂取に関する記事を掲載した。12月には薬物乱用防止に関する普及啓発のため、市内中学校生徒を対象に標語、ポスター募集での入選作品の掲示と国分寺駅において街頭啓発活動を実施するなど、複数媒体を活用し、普及啓発に努めた。引き続き、様々な媒体を活用し、普及啓発を行っていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
9	各ライフステージに応じた 女性の健康づくり推進の普及啓発事業	実施 特に、3月の女性の健康週間等は強化します。	新規	—	実施	-	ヘルスアップ通信3月号に女性の健康づくりに関する記事を掲載。同時期に、「子宮頸がん」についてのがん講座を実施した。また、9月に国分寺市制施行60周年記念として開催した「国分寺市健康フェスタ」で、女性の健康をテーマとした基調講演・トークセッションを行った。引き続き、普及啓発のため様々な取組を行っていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
10	行動科学を活用した健康づくり普及・啓発事業	実施 健（検）診の勧奨や、健康づくりの普及啓発等において、ナッジ等の行動科学の知見を活用した取組を行います。	新規	—	実施	-	がん検診募集市報記事に健診の費用を掲載し、受診の利益を実感できるようにした。健康診査個別受診券送付の封筒や勧奨通知に、「あなたと、あなたの大切な人のため、年に1度は健診を」の文言を加え、健診受診の動機付けを行った。引き続き、行動変容を促す取組を検討し、普及啓発に努めていく。	行動科学を活用した健康づくり普及・啓発について、広く「ゼロ次予防」につながるよう、さまざまな取組での検討・実施を促していくべきである。		
11	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集	-	今後、国の動向や他市の状況を注視し取組を検討していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		

からだ・こころ分野 施策1構成事業 事業活動指標 経年変化一覧

No	事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1	ゆりかご・こくぶんじ	面接率 (面接実施数/妊娠届出数)	100.44%	106.61%	101.02%					
2	両親学級	推定受講率 (全受講者数/母子健康手帳交付数)	61.14%	64.84%	79.66%					
3	両親学級での飲酒・喫煙リスクの情報提供	実施	実施	実施	実施					
4	産婦・育児相談 (1度の出産で1度のみ参加可能)	参加率 (参加人数/対象者数)	40.32%	34.78%	30.93%					
5	成人健康講座(健康増進法に基づく成人健康教育)	参加者アンケートの満足度 参加者に対して、満足+やや満足の回答数の割合 (「満足+やや満足」と回答した人数/アンケート回答者数)	97.80%	90.20%	87.50%					
6	栄養講座(健康増進法に基づく成人健康教育)	参加者アンケートの満足度 「今後の生活の参考にできそうなことは、ありましたか。」との問いに「はい」と回答した数の割合 (「はい」と回答した人数/参加者数)	84.13%	85.94%	60.53%					
7	こころの体温計	年間アクセス件数	24,923件	89,112件	61,670件					
8	健康リスク回避に向けた周知・啓発事業	実施	実施	実施	実施					
9	各ライフステージに応じた 女性の健康づくり推進の普及啓発事業	実施 特に、3月の女性の健康週間等は強化します。	新規	—	実施					
10	行動科学を活用した健康づくり普及・啓発事業	実施 健(検)診の勧奨や、健康づくりの普及啓発等において、 ナッジ等の行動科学の知見を活用した取組を行います。	新規	—	実施					
11	協働による健康増進に仕組みづくりの検討	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集					



第2次国分寺市健康増進計画 基本施策進捗管理シート(対象施策:からだ・こころ 施策2)									
該当分野		からだ・こころ							
基本目標		いきいき健やかな暮らしを目指し、ライフコースを踏まえて、からだところの健康を保持・増進します。							
該当施策		2：定期的な健康チェックの場である健（検）診について、申請方法のデジタル化を進めるなどにより、アクセス性を高めるとともに、生涯を通じた健康管理が可能になるような環境整備も検討します。							
施策構成事業の前年度の状況分析（事業対象年度：令和6年度）									
No	該当事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	当該年度 の傾向 (前年度比)	指標の結果となった分析と 新たな取組の方向性	委員会助言	
1	両親学級	推定受講率 (全受講者数/母子健康手帳交付数)	61.14%	64.84%	79.66%	↗	参加者は変わらず60%以上を維持できている。令和7年度より公募型協働事業として平日夜間や土日に回数を増やして実施する。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
2	産婦・育児相談 （1度の出産で1度のみ参加可能）	参加率 (参加人数/対象者数)	40.32%	34.78%	30.93%	↘	産婦・新生児訪問の実施率の向上、相談場所の増加により参加率は下がっている。令和7年度より、中部地区拠点親子ひろば、西部地区拠点親子ひろばの2箇所予約制で回数を増やして実施し、より身近な場所で参加できるよう工夫していく。	より効果的な進捗管理・最終評価を行えるように、産婦・育児相談の事業内容として「産婦が1回の出産で1回のみ参加できる事業である」ことを追記し、今後の進捗管理を行うべきである。	
3	健（検）診※								
4	健康診断※		（「健康診査別表」を参照）						
5	後期高齢者医療健康診査※								
6	協働による健康増進の仕組みづくりの検討（再掲）	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集	—	今後、国の動向や他市の状況を注視し取組を検討していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	

からだ・こころ分野 施策 2 構成事業 事業活動指標 経年変化一覧

※印については、「健康診査別表」シートを参照

No	事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1	両親学級	推定受講率 (全受講者数/母子健康手帳交付数)	61.14%	64.84%	79.66%					
2	産婦・育児相談 (1 度の出産で 1 度のみ参加可能)	参加率 (参加人数/対象者数)	40.32%	34.78%	30.93%					
3	健（検）診※									
4	健康診断※		（「健康診査別表」を参照）							
5	後期高齢者医療健康診査※									
6	協働による健康増進の仕組みづくりの検討（再掲）	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集					

第2次国分寺市健康増進計画 基本施策進捗管理シート(対象施策:からだ・こころ 施策3)								※印については、「健康診査別表」シートを参照	
該当分野	からだ・こころ								
基本目標	いきいき健やかな暮らしを目指し、ライフコースを踏まえて、からだところの健康を保持・増進します。								
該当施策	3：関係機関とも連携し、かかりつけ医師・歯科医師・薬剤師をもつことの重要性を引き続き周知・啓発することで、疾病予防や早期発見を促進し、継続的な健康づくりに取り組める環境の充実に取り組みます。								
施策構成事業の前年度の状況分析（事業対象年度：令和6年度）									
No	該当事業名	事業活動指標	ベース	R5	R6	当該年度 の傾向 (前年度比)	指標の結果となった分析と 新たな取組の方向性	委員会助言	
			ライン値 (R4)						
1	産後ケア事業	①利用世帯数※ ※世帯数=利用人数の実数 ②利用率 (世帯数/利用登録世帯数)	①159世帯 ②88.8%	①224世帯 ②89.2%	①265世帯 ②82.6%	↗	事業に対する関心の高まりから希望者が増加している。令和7年度より委託事業者の増加、アウトリーチ型も開始し、さらなる支援の充実を図る。	産後ケアについて、必要とする世帯へサービスが行き届いているのかを確認するために「利用世帯数」に加えて、「利用率(世帯数※/利用登録世帯数)」(※世帯数＝利用者数の実数)も併記すべきである。	
2	両親学級	推定受講率 (全受講者数/母子健康手帳交付数)	61.14%	64.84%	79.66%	↗	参加者は変わらず60%以上を維持できている。令和7年度より公募型協働事業として平日夜間や土日に回数を増やして実施する。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
3	産婦・育児相談 (1度の出産で1度のみ参加可能)	参加率 (参加人数/対象者数)	40.32%	34.78%	30.93%	↘	産婦・新生児訪問の実施率の向上、相談場所の増加により参加率は下がっている。令和7年度より、中部地区拠点親子ひろば、西部地区拠点親子ひろばの2箇所です予約制で回数を増やして実施し、より身近な場所で参加できるよう工夫していく。	より効果的な進捗管理・最終評価を行えるように、産婦・育児相談の事業内容として「産婦が1回の出産で1回のみ参加できる事業である」ことを追記し、今後の進捗管理を行うべきである。	
4	成人健康講座（健康増進法に基づく成人健康教育）	参加者アンケートの満足度 参加者に対して、満足＋やや満足の回答数の割合 (「満足＋やや満足」と回答した人数/アンケート回答者数)	97.80%	90.20%	87.50%	↘	アンケートは、講座途中退席や後日配信による未回収があるものの、アンケート回答者における満足度は97%であり、満足度は高い。引き続き、満足度の高い講座を提供を維持していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
5	栄養講座（健康増進法に基づく成人健康教育）	参加者アンケートの満足度 「今後の生活の参考にできそうなことは、ありましたか。」との問いに「はい」と回答した数の割合 (「はい」と回答した人数/参加者数)	84.13%	85.94%	60.53%	↘	令和6年度より、全ての栄養講座でオンライン配信を開始し参加者数は微増した。しかしながらそれと同時に、講座中の途中退出者等によるやアンケート未回答者数が増加した。アンケート回答者の満足度は91.84%（49人中45人）と高水準を維持しているため、今後も引き続き、満足度の高い講座を提供を維持していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
6	こころの体温計	年間アクセス件数	24,923件	89,112件	61,670件	↘	令和5年度と比較すると、アクセス件数は減少しているが、毎月4,000～5,000件近くのアクセスがあった。引き続き、庁内のデジタルサイネージの活用など周知方法を工夫していく。	より実効性のある形で進捗を把握し、最終的な評価につなげることができるよう、具体的に「誰に対してアクセスを促すことが有効か」わかるように男女別かつ年代別のデータの分析も必要と考える。	
7	健（検）診※								
8	健康診断※		（「健康診査別表」を参照）						
9	後期高齢者医療健康診査※								
10	協働による健康増進の仕組みづくりの検討（再掲）	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集	—	今後、国の動向や他市の状況を注視し取組を検討していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	

からだ・こころ分野 施策3構成事業 事業活動指標 経年変化一覧

※印については、「健康診査別表」シートを参照

No	事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1	産後ケア事業	①利用世帯数※ ※世帯数=利用人数の実数 ②利用率 (世帯数/利用登録世帯数)	①159世帯 ②88.8%	①224世帯 ②89.2%	①265世帯 ②82.6%					
2	両親学級	推定受講率 (全受講者数/母子健康手帳交付数)	61.14%	64.84%	79.66%					
3	産婦・育児相談 (1度の出産で1度のみ参加可能)	参加率 (参加人数/対象者数)	40.32%	34.78%	30.93%					
4	成人健康講座	参加者アンケートの満足度 参加者に対して、満足＋やや満足の回答数の割合 (「満足＋やや満足」と回答した人数/アンケート回答者数)	97.80%	90.20%	87.50%					
5	栄養講座	参加者アンケートの満足度 「今後の生活の参考にできそうなことは、ありましたか。」との問いに「はい」と回答した数の割合 (「はい」と回答した人数/参加者数)	84.13%	85.94%	60.53%					
6	こころの体温計	年間アクセス件数	24,923件	89,112件	61,670件					
7	健（検）診※									
8	健康診断※				(「健康診査別表」を参照)					
9	後期高齢者医療健康診査※									
10	協働による健康増進の仕組みづくりの検討（再掲）	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集					

第2次国分寺市健康増進計画 基本施策進捗管理シート(対象施策:からだ・こころ 施策4)								
該当分野	からだ・こころ							
基本目標	いきいき健やかな暮らしを目指し、ライフコースを踏まえて、からだところの健康を保持・増進します。							
該当施策	4：こころの健康づくりに向け、相談体制の充実や、相談窓口に関する情報提供を充実させます。また、社会とのつながりや余暇の充実も影響するとされていることから、各々のライフスタイルに応じた社会参加を促すことなどを目指します。							
施策構成事業の前年度の状況分析（事業対象年度：令和6年度）								
No	該当事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	当該年度 の傾向 (前年度比)	指標の結果となった分析と 新たな取組の方向性	委員会助言
1	産後ケア事業	①利用世帯数※ ※世帯数=利用人数の実数 ②利用率 (世帯数/利用登録世帯数)	①159世帯 ②88.8%	①224世帯 ②89.2%	①265世帯 ②82.6%	↗	事業に対する関心の高まりから希望者が増加している。令和7年度より委託事業者の増加、アウトリーチ型も開始し、さらなる支援の充実を図る。	産後ケアについて、必要とする世帯へサービスが行き届いているのかを確認するために「利用世帯数」に加えて、「利用率(世帯数※/利用登録世帯数)」(※世帯数＝利用者数の実数)も併記すべきである。
2	産婦・育児相談 (1度の出産で1度のみ参加可能)	参加率 (参加人数/対象者数)	40.32%	34.78%	30.93%	↘	産婦・新生児訪問の実施率の向上、相談場所の増加により参加率は下がっている。令和7年度より、中部地区拠点親子ひろば、西部地区拠点親子ひろばの2箇所です予約制で回数を増やして実施し、より身近な場所で参加できるよう工夫していく。	より効果的な進捗管理・最終評価を行えるように、産婦・育児相談の事業内容として「産婦が1回の出産で1回のみ参加できる事業である」ことを追記し、今後の進捗管理を行うべきである。
3	成人健康講座（健康増進法に基づく成人健康教育）	参加者アンケートの満足度 参加者に対して、満足＋やや満足の回答数の割合 (「満足＋やや満足」と回答した人数/アンケート回答者数)	97.80%	90.20%	87.50%	↘	アンケートは、講座途中退席や後日配信による未回収があるものの、アンケート回答者における満足度は97％であり、満足度は高い。引き続き、満足度の高い講座を提供を維持していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
4	栄養講座（健康増進法に基づく成人健康教育）	参加者アンケートの満足度 「今後の生活の参考にできそうなことは、ありましたか。」との問いに「はい」と回答した数の割合 (「はい」と回答した人数/参加者数)	84.13%	85.94%	60.53%	↘	令和6年度より、全ての栄養講座でオンライン配信を開始し参加者数は微増した。しかしながらそれと同時に、講座中の途中退出者等によるやアンケート未回答者数が増加した。アンケート回答者の満足度は91.84％（49人中45人）と高水準を維持しているため、今後も引き続き、満足度の高い講座を提供を維持していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
5	こころの体温計	年間アクセス件数	24,923件	89,112件	61,670件	↘	令和5年度と比較すると、アクセス件数は減少しているが、毎月4,000～5,000件近くのアクセスがあった。引き続き、庁内のデジタルサイネージの活用など周知方法を工夫していく。	より実効性のある形で進捗を把握し、最終的な評価につなげることができるよう、具体的に「誰に対してアクセスを促すことが有効か」わかるように男女別かつ年代別のデータの分析も必要と考える。
6	協働による健康増進の仕組みづくりの検討（再掲）	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集	—	今後、国の動向や他市の状況を注視し取組を検討していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。

からだ・こころ分野 施策4 構成事業 事業活動指標 経年変化一覧

No	事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1	産後ケア事業	①利用世帯数※ ※世帯数=利用人数の実数 ②利用率 (世帯数/利用登録世帯数)	①159世帯 ②88.8%	①224世帯 ②89.2%	①265世帯 ②82.6%					
2	産婦・育児相談 (1度の出産で1度のみ参加可能)	参加率 (参加人数/対象者数)	40.32%	34.78%	30.93%					
3	成人健康講座	参加者アンケートの満足度 参加者に対して、満足+やや満足の回答数の割合 (「満足+やや満足」と回答した人数/アンケート回答者数)	97.80%	90.20%	87.50%					
4	栄養講座	参加者アンケートの満足度 「今後の生活の参考にできそうなことは、ありましたか。」との問いに「はい」と回答した数の割合 (「はい」と回答した人数/参加者数)	84.13%	85.94%	60.53%					
5	こころの体温計	年間アクセス件数	24,923件	89,112件	61,670件					
6	協働による健康増進の仕組みづくりの検討(再掲)	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集					

第2次国分寺市健康増進計画 基本施策進捗管理シート(対象施策:からだ・こころ 施策5)									
該当分野	からだ・こころ								
基本目標	いきいき健やかな暮らしを目指し、ライフコースを踏まえて、からだところの健康を保持・増進します。								
該当施策	5：からだところの健康づくりに向けて、喫煙や過度の飲酒、短い睡眠時間など健康増進にあたってのリスクについて、周囲への影響に関する知識も含め、周知・啓発を進め、健康上のリスクになる行動を行う市民の割合の減少を目指します。								
施策構成事業の前年度の状況分析（事業対象年度：令和6年度）									
No	該当事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	当該年度 の傾向 (前年度比)	指標の結果となった分析と 新たな取組の方向性	委員会助言	
1	ゆりかご・こくぶんじ	面接率 (面接実施数/妊娠届出数)	100.44%	106.61%	101.02%	↘	オンライン予約とし、オンライン・対面で面接を実施。ほぼ全数の方と面接ができており、今後も継続して全数面接を行っていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
2	両親学級	推定受講率 (全受講者数/母子健康手帳交付数)	61.14%	64.84%	79.66%	↗	参加者は変わらず60%以上を維持できている。令和7年度より公募型協働事業として平日夜間や土日に回数を増やして実施する。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
3	両親学級での飲酒・喫煙リスクの情報提供	実施	実施	実施	実施	—	妊娠中は健康に対する意識が高まる時期であり、引き続き情報提供を実施していく。令和7年度より公募型協働事業として回数を増やし実施、少ない人数に対し詳しく説明することが可能となる。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
4	健康リスク回避に向けた周知・啓発事業	実施	実施	実施	実施	—	5月世界禁煙デーに合わせて、ぶんバスポスターの掲示とヘルスアップ通信に記事を掲載。ヘルスアップ通信9月号には、アルコール適正摂取に関する記事を掲載した。12月には薬物乱用防止に関する普及啓発のため、市内中学校生徒を対象に標語、ポスター募集での入選作品の掲示と国分寺駅において街頭啓発活動を実施するなど、複数媒体を活用し、普及啓発に努めた。引き続き、様々な媒体を活用し、普及啓発を行っていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
5	各ライフステージに応じた 女性の健康づくり推進の普及啓発事業	実施 特に、3月の女性の健康週間等は強化します。	新規	—	実施	—	ヘルスアップ通信3月号に女性の健康づくりに関する記事を掲載。同時期に、「子宮頸がん」についてのがん講座を実施した。また、9月に国分寺市制施行60周年記念として開催した「国分寺市健康フェスタ」で、女性の健康をテーマとした基調講演・トークセッションを行った。引き続き、普及啓発のため様々な取組を行っていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
6	協働による健康増進の仕組みづくりの検討（再掲）	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集	—	今後、国の動向や他市の状況を注視し取組を検討していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	

からだ・こころ分野 施策 5 構成事業 事業活動指標 経年変化一覧

No	事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1	ゆりかご・こくぶんじ	面接率 (面接実施数/妊娠届出数)	100.44%	106.61%	101.02%					
2	両親学級	推定受講率 (全受講者数/母子健康手帳交付数)	61.14%	64.84%	79.66%					
3	両親学級での飲酒・喫煙リスクの情報提供	実施	実施	実施	実施					
4	健康リスク回避に向けた周知・啓発事業	実施	実施	実施	実施					
5	各ライフステージに応じた女性の健康づくり推進の普及啓発事業	実施 特に、3月の女性の健康週間等は強化します。	新規	—	実施					
6	協働による健康増進の仕組みづくりの検討（再掲）	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集					

第2次国分寺市健康増進計画 基本施策進捗管理シート(対象施策:からだ・こころ 施策6)								※印については、「健康診査別表」シートを参照
該当分野	からだ・こころ							
基本目標	いきいき健やかな暮らしを目指し、ライフコースを踏まえて、からだところの健康を保持・増進します。							
該当施策	6：健康づくりの推進にあたっては、男女の性差を念頭におき、各ライフステージに必要な女性の健康づくりを支援していきます。							
施策構成事業の前年度の状況分析（事業対象年度：令和6年度）								
No	該当事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	当該年度 の傾向 (前年度比)	指標の結果となった分析と 新たな取組の方向性	委員会助言
1	ゆりかご・こくぶんじ	面接率 (面接実施数/妊娠届出数)	100.44%	106.61%	101.02%	↘	オンライン予約とし、オンライン・対面で面接を実施。ほぼ全数の方と面接ができており、今後も継続して全数面接を行っていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
2	産後ケア事業	①利用世帯数※ ※世帯数=利用人数の実数 ②利用率 (世帯数/利用登録世帯数)	①159世帯 ②88.8%	①224世帯 ②89.2%	①265世帯 ②82.6%	↗	事業に対する関心の高まりから希望者が増加している。令和7年度より委託事業者の増加、アウトリーチ型も開始し、さらなる支援の充実を図る。	産後ケアについて、必要とする世帯へサービスが行き届いているのかを確認するために「利用世帯数」に加えて、「利用率(世帯数※/利用登録世帯数)」(※世帯数＝利用者数の実数)も併記すべきである。
3	産婦・育児相談 (1度の出産で1度のみ参加可能)	参加率 (参加人数/対象者数)	40.32%	34.78%	30.93%	↘	産婦・新生児訪問の実施率の向上、相談場所の増加により参加率は下がっている。令和7年度より、中部地区拠点親子ひろば、西部地区拠点親子ひろばの2箇所です予約制で回数を増やして実施し、より身近な場所で参加できるよう工夫していく。	より効果的な進捗管理・最終評価を行えるように、産婦・育児相談の事業内容として「産婦が1回の出産で1回のみ参加できる事業である」ことを追記し、今後の進捗管理を行うべきである。
4	健（検）診※		（「健康診査別表」を参照）					
5	各ライフステージに応じた女性の健康づくり推進の普及啓発事業	実施 特に、3月の女性の健康週間等は強化します。	新規	—	実施	—	ヘルスアップ通信3月号に女性の健康づくりに関する記事を掲載。同時期に、「子宮頸がん」についてのがん講座を実施した。また、9月に国分寺市制施行60周年記念として開催した「国分寺市健康フェスタ」で、女性の健康をテーマとした基調講演・トークセッションを行った。引き続き、普及啓発のため様々な取組を行っていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
6	行動科学を活用した健康づくり普及・啓発事業	実施 健（検）診の勧奨や、健康づくりの普及啓発等において、ナッジ等の行動科学の知見を活用した取組を行います。	新規	—	実施	—	がん検診募集市報記事に健診の費用を掲載し、受診の利益を実感できるようにした。健康診査個別受診券送付の封筒や勧奨通知に、「あなたと、あなたの大切な人のため、年に1度は健診を」の文言を加え、健診受診の動機付けを行った。引き続き、行動変容を促す取組を検討し、普及啓発に努めていく。	行動科学を活用した健康づくり普及・啓発について、広く「ゼロ次予防」につながるよう、さまざまな取組での検討・実施を促していくべきである。
7	協働による健康増進の仕組みづくりの検討（再掲）	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集	—	今後、国の動向や他市の状況を注視し取組を検討していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。

からだ・こころ分野 施策 6 構成事業 事業活動指標 経年変化一覧

※印については、「健康診査別表」シートを参照

No	事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1	ゆりかご・こくぶんじ	面接率 (面接実施数/妊娠届出数)	100.44%	106.61%	101.02%					
2	産後ケア事業	①利用世帯数※ ※世帯数=利用人数の実数 ②利用率 (世帯数/利用登録世帯数)	①159世帯 ②88.8%	①224世帯 ②89.2%	①265世帯 ②82.6%					
3	産婦・育児相談 (1 度の出産で 1 度のみ参加可能)	参加率 (参加人数/対象者数)	40.32%	34.78%	30.93%					
4	健（検）診※		(「健康診査別表」を参照)							
5	各ライフステージに応じた女性の健康づくり推進の普及啓発事業	実施 特に、3 月の女性の健康週間等は強化します。	新規	—	実施					
6	行動科学を活用した健康づくり普及・啓発事業	実施 健（検）診の勧奨や、健康づくりの普及啓発等において、ナッジ等の行動科学の知見を活用した取組を行います。	新規	—	実施					
7	協働による健康増進の仕組みづくりの検討（再掲）	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集					

第2次国分寺市健康増進計画 基本施策進捗管理シート(対象施策:歯と口 施策1)									
該当分野	歯と口								
基本目標	からだ・こころの健康につながる歯・口の健康を意識し、保持・増進できるように取り組みます。								
該当施策	1：早期からの口腔ケアの習慣の定着化を示す指標として、小中学生のむし歯罹患率について減少傾向を維持するとともに、全ての年代において、歯周病等の疾患が減少し、歯と口の自身の健康状態について、不自由や苦痛を感じる人を減少傾向に転じさせるため、歯と口の健康状態についてチェックできる場を維持し、その充実に努めます。								
施策構成事業の前年度の状況分析（事業対象年度：令和6年度）									
No	事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	当該年度 の傾向 (前年度比)	指標の結果となった分析と 新たな取組の方向性	委員会助言	
1	乳幼児歯科相談（2歳半・3歳半歯科健康診査）	①受診者数 ②2歳半受診率 (受診者数/対象者数) ③3歳半受診率 (受診者数/対象者数)	①133人 ②3.1% ③1.7%	①144人 ②3.6% ③2.1%	①106人 ②2.9% ③1.6%	↘	共働きの家庭も増加していること、医療機関でも歯科健診が行われていることから受診数は減少している。今後も歯科保健の側面から支援できるよう実施していく。	より具体的な課題抽出と効果的な改善策の策定を行うため、受診者の年齢別に2歳半と3歳半それぞれの受診率も併記すべきである。	
2	乳幼児健康診査（産婦・育児相談） 5～6か月児を対象とした健康相談（令和5年度から。令和4年度までは3～4か月児）	歯科相談人数	74人	76人	37人	↘	産婦交流の中で不安や疑問が解決できるように交流の中に各専門職が入り相談対応する方法に変更していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
3	1歳6か月児健康診査	歯科受診率 (受診者数/対象者数)	99.70%	97.01%	95.57%	↘	今後も集団健診として継続して事業を実施する。未受診者について、受診勧奨を継続して実施する。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
4	3歳児健康診査	歯科受診率 (当該年度受診者数/対象者数)	101.90%	91.79%	94.86%	↗	今後も集団健診として継続して事業を実施する。未受診者について、受診勧奨を継続して実施する。	評価指標の受診率の算出方法を明記すべきである。	
5	妊婦歯科健康診査	受診率 (受診者数/対象者数)	12.51%	15.79%	14.74%	↘	働いている妊婦も増えている中で時間や場所を選んで健診が受けられるよう令和7年度より個別健診も併用実施する。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
6	歯科健康診査	受診率(合計) (受診者数/対象者数)	1.40%	1.35%	1.28%	↘	受診率は僅かに減少した。対象年齢が令和6年度から19歳（年度末年齢）以上としたが、20歳代の受診率が低かったため、全体の受診率減少につながった。個別勧奨の継続等により、若い世代の受診率を向上させ、全体の受診率向上に繋げていきたい。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
7	パノラマレントゲン（口腔内の状態を一度に撮影）	受診件数	107件	96件	65件	↘	パノラマレントゲン撮影は40・60歳の受診者のうち、医師が必要とした者のみに実施している。件数の減少は医師の判断の結果と捉えているが、必要とする者が対象となるように協力医療機関への周知を継続。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
8	口腔機能向上歯科健診	定員充足率 (全参加者数/定員合計数(いきいき口腔歯科検診フォローアップ含む))	55.45%	22.92%	39.29%	↗	特定健診や胃がん検診事業等と連携して周知を図り、積極的に事業周知を実施していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
9	健康診断（就学予定児童を対象とした健康診断：歯科含む）	全児童対象の定期健康診断の実施	実施	実施	実施	－	今後も継続して事業を行っていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
10	健康診断（学校医等による全児童対象の定期健康診断：歯科含む）	全児童対象の定期健康診断の実施	実施	実施	実施	－	今後も継続して事業を行っていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
11	健康診断（中学校2年生を対象とした秋の歯科健診）	全対象生徒の実施	実施	実施	実施	－	今後も継続して事業を行っていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
12	歯科健康診査（後期高齢者を対象とした医療機関での歯科健診：いきいき口腔健診）	受診率(合計) (受診者数/対象者数)	5.54%	5.40%	5.24%	↘	受診率はやや減少したが、75歳到達者への個別発送後には問い合わせがあり、関心の高さも感じられる。市報やHP掲載の他、高齢者関係機関とも連携し事業周知を実施する。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
13		オーラルフレイルと判定され、口腔機能向上歯科健診を受診した率 (受診者数/オーラルフレイル該当数)	1.45%	1.07%	0.00%	↘	いきいき口腔健診の受診者のうち口腔機能向上歯科健診受診者はいなかった。口腔機能向上歯科健診は、本人希望による申し込み制のため、受診につながっていないことが考えられる。 今後は、いきいき口腔科健診でオーラルフレイルと判定された方に対する、医療機関での積極的受診勧奨を促していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
14	協働による健康増進の仕組みづくりの検討（再掲）	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	－	情報収集	－	今後、国の動向や他市の状況を注視し取り組みを検討していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	

歯と口 分野 施策 1 構成事業 事業活動指標 経年変化一覧

No	事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1	乳幼児歯科相談（2歳半・3歳半歯科健康診査）	①受診者数 ②2歳半受診率 (受診者数/対象者数) ③3歳半受診率 (受診者数/対象者数)	①133人 ②3.1% ③1.7%	①144人 ②3.6% ③2.1%	①106人 ②2.9% ③1.6%					
2	乳幼児健康診査（産婦・育児相談） 5～6か月児を対象とした健康相談（令和5年度から）	歯科相談人数	74人	76人	37人					
3	1歳6か月児健康診査	歯科受診率 (受診者数/対象者数)	99.70%	97.01%	95.57%					
4	3歳児健康診査	歯科受診率 (当該年度受診者数/対象者数)	101.90%	91.79%	94.86%					
5	妊婦歯科健康診査	受診率 (受診者数/対象者数)	12.51%	15.79%	14.74%					
6	歯科健康診査	受診率(合計) (受診者数/対象者数)	1.40%	1.35%	1.28%					
7	パノラマレントゲン（口腔内の状態を一度に撮影）	受診件数	107件	96件	65件					
8	口腔機能向上歯科健診	定員充足率 (全参加者数/定員合計数(いきいき口腔歯科検診フォローアップ含む))	55.45%	22.92%	39.29%					
9	健康診断（就学予定児童を対象とした健康診断：歯科含む）	全児童対象の定期健康診断の実施	実施	実施	実施					
10	健康診断（学校医等による全児童対象の定期健康診断：歯科含む）	全児童対象の定期健康診断の実施	実施	実施	実施					
11	健康診断（中学校2年生を対象とした秋の歯科健診）	全対象生徒の実施	実施	実施	実施					
12	歯科健康診査	受診率(合計) (受診者数/対象者数)	0.0554	5.40%	5.24%					
13	（後期高齢者を対象とした医療機関での歯科健診：いきいき口腔健診）	オーラルフレイルと判定され、口腔機能向上歯科健診を受診した率 (受診者数/オーラルフレイル該当数)	1.45%	1.07%	0.00%					
14	協働による健康増進の仕組みづくりの検討（再掲）	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集					

資料 316/24

第2次国分寺市健康増進計画 基本施策進捗管理シート(対象施策:歯と口 施策2)

該当分野	歯と口									
基本目標	からだ・こころの健康につながる歯・口の健康を意識し、保持・増進できるように取り組みます。									
該当施策	2：歯と口に関する健康格差を縮小し、周産期から高齢期まで生涯を通じて、すべての人が歯と口の健康づくりに取り組むことができるよう、歯と口の健康に関連する生活習慣の改善や歯の喪失防止等につながる取組を、関係機関とも連携・協力し行っていきます。また、それに必要な専門的な人材についても確保・育成に努									
施策構成事業の前年度の状況分析（事業対象年度：令和6年度）										
No	事業名	事業活動指標	ベースライン値 (R4)	R5	R6	当該年度 の傾向 (前年度比)	指標の結果となった分析と 新たな取組の方向性	委員会助言		
1	乳幼児歯みがきクラス	受講者数(大人・子ども計)	217人	249人	221人	↘	時間を選ばず予約できるようぶんじ子育てナビによる予約を導入しているが、参加率は下がっている。ぶんじ子育てナビ等周知を行い、今後も事業で口腔ケア、口腔機能を伝えていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
2	乳幼児母性相談（歯みがき相談）	歯みがき相談件数	37件	76人	126人	↗	予約がなくても気軽に相談できることから相談者数は増加している。今後も継続して事業を行っていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
3	乳幼児歯科相談（2歳児歯みがきクラス）	受講者数(子ども)	35人	44人	27人	↘	時間を選ばず予約できるようぶんじ子育てナビによる予約を導入しているが、共働き家庭の増加により参加率は下がっている。来所以外の口腔ケア方法の周知も検討する必要がある。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
4	子どもの歯を守る連絡会	開催回数	2回	1回	2回	↗	連絡会において引き続き子どもの歯と口の健康に関する情報連携等を行っていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
5	成人健康講座（歯科専門家による講座）	参加者アンケート満足度 (満足+やや満足回答数/参加者数)	100.00%	93.33%	93.75%	↗	市民の歯と口の健康の維持・増進につながるテーマを選定し、満足度の高い講座を継続して実施していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
6	成人健康講座（歯科医師などによる歯科保健健康教育、歯科衛生士による個別相談等を実施）	講座回数(計)	1回	1回	1回	→	1回/年の歯科保健講座を継続し、市民にとって有益となる情報提供を実施。より多くの市民への普及啓発を目的として、YouTubeでの後日配信を実施。引き続き、多くの市民が参加しやすいよう工夫をして実施していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
7		①歯科講座・出前講座参加者数(計) ②講座実施回数	①121人 ②8回	①118人 ②7回	①103人 ②6回	↘	出前講座の開催数が減ったことにより参加者人数が減少した。出前講座は、開催希望の申込みが前提であるため、同講座の周知をより充実させていく。	評価指標は講座参加者数であるが、参加者数の増減には講座の実施回数が大きく影響する。今後は参加者数の推移に加え、講座の開催回数についても併せて表記すべきである。		
8	歯と口の健康週間事業（歯科医師による歯と口の健康チェック）	定員充足率 (参加者数/定員)	—	96.00%	230.00%	↗	イベント参加の予約制(新型コロナウイルス感染症対策)を廃止し、従来の市民が参加しやすい方法に戻し事業を継続した結果、数値が上がった。引き続き市民が参加しやすい工夫を検討する。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
9	歯と口の健康週間事業（口腔外科医による口腔がん検診）	定員充足率 (参加者数/定員)	100.00%	87.20%	89.30%	↗	口腔がん検診の実施により、自身の口腔内観察の重要性への気づきにつなげ、生活のQOLが低下する口腔がんの発症を予防する。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
10	健（検）康診査	受診率(歯科健診)	58.00%			-	—			
11	歯科医療連携推進事業	相談の結果、歯科医療機関につないだ件数	8件	5件	3件	↘	件数はやや減少した。訪問診療を実施する歯科医療機関での受診も増えてきているが、必要としている市民への周知の不足も原因の一つとして考えられる。関係機関への周知依頼等、制度の普及を検討する。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
12		障害者等相談窓口件数	103件	98件	81件	↘	窓口件数はやや減少しているが、高齢者だけではなく、発達障害のある児童への歯科相談にも個別で対応している。対象者の満足度の高い相談を実施を継続していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
13		歯科医療機関につなげるための関係機関との連携数計	88件	63件	47件	↘	相談件数の減により、関係機関との連携件数も減少した。相談が必要な市民への周知につながるよう、周知方法の工夫を図る。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
14	個別歯科相談	歯科相談件数(計)	129件	4件	20件	↗	成人対象の歯科相談は、歯科医療機関の個別健診等で対応されていると考えられる。今後も、丁寧な相談を心がけ、継続していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
15	健康診断（小学校4年生を対象とした歯磨き指導の実施）	学校歯科医等による指導の実施	実施	実施	実施	-	令和6年度から授業内での実技指導を一部再開しており、令和7年度からは歯垢の染め出しを含む実技指導を全て再開する。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
16	ちょいたし事業	実施回数	82回	84回	82回	↘	ちょいたし事業は、住民グループにオーラルフレイル活動を取り込むことを目標に、市と介護予防推進員（市民ボランティア）が協力して行う事業である。その取組を通して、R5以降は介護予防推進員等が中心となり、各グループにてオーラルフレイル活動に取り組める環境へ発展したため、ちょいたし事業は終了となった。オーラルフレイル普及啓発活動として、各種事業でオーラルフレイル運動やプログラムを取り入れ普及啓発に取り組んでいるため、R5以降より指標を変更した。本取り組みは、次年度以降も引き続き開催していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		
17	協働による健康増進の仕組みづくりの検討（再掲）	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集	-	今後、国の動向や他市の状況を注視し取り組みを検討していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。		

歯と口 分野 施策2 構成事業 事業活動指標 経年変化一覧

No	事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1	乳幼児歯みがきクラス	受講者数(大人・子ども計)	217人	249人	221人					
2	乳幼児母性相談（歯みがき相談）	歯みがき相談件数	37件	76人	126人					
3	乳幼児歯科相談（2歳児歯みがきクラス）	受講者数(子ども)	35人	44人	27人					
4	子どもの歯を守る連絡会	開催回数	2回	1回	2回					
5	成人健康講座（歯科専門家による講座）	参加者アンケート満足度 (満足+やや満足回答数/参加者数)	100.00%	93.33%	93.75%					
6	成人健康講座（歯科医師などによる歯科保健健康教育、歯科衛生士による個別相談等を実施）	講座回数(計)	1回	1回	1回					
7		①歯科講座・出前講座参加者数(計) ②講座実施回数	①121人 ②8回	①118人 ②7回	①103人 ②6回					
8	歯と口の健康週間事業（歯科医師による歯と口の健康チェック）	定員充足率 (参加者数/定員)	—	96.00%	230.00%					
9	歯と口の健康週間事業（口腔外科医による口腔がん検診）	定員充足率 (参加者数/定員)	100.00%	87.20%	89.30%					
10	健（検）康診査	受診率(歯科健診)	58.00%							
11	歯科医療連携推進事業	相談の結果、歯科医療機関につないだ件数	8件	5件	3件					
12		障害者等相談窓口件数	103件	98件	81件					
13		歯科医療機関につなげるための関係機関との連携数計	88件	63件	47件					
14	個別歯科相談	歯科相談件数(計)	129件	4件	20件					
15	健康診断（小学校4年生を対象とした歯磨き指導の実施）	学校歯科医等による指導の実施	実施	実施	実施					
16	ちょいたし事業	実施回数	82回	84回	82回					
17	協働による健康増進の仕組みづくりの検討（再掲）	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集					

第2次国分寺市健康増進計画 基本施策進捗管理シート(対象施策:食育 施策1)									
該当分野	食育								
基本目標	健康を支える食を大切にし、食を楽しむことで、食を意識する環境づくりを目指し、ライフスタイルに応じて適切な食習慣の形成を促します。								
該当施策	1：市民が、食に関心を持ち、食を楽しむことで、食に対する関心をさらに高め、各々のライフスタイルに応じた形で、朝食をとることを習慣化するために、周産期・乳幼児期から高齢期まで広い世代に対し、様々な食に関する体験の機会や情報を提供し、食に関心を持ち、食を楽しむきっかけを作ります。								
施策構成事業の前年度の状況分析（事業対象年度：令和6年度）									
No	事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	当該年度 の傾向 (前年度比)	指標の結果となった分析と 新たな取組の方向性	委員会助言	
1	栄養講座（再掲）（健康増進法に基づく成人健康教育） 栄養士等による生活習慣病予防等に関する普及啓発講座を開催	参加者アンケートの満足度 「今後の生活の参考にできそうなことは、ありましたか。」との問いに「はい」と回答した数の割合 (「はい」と回答した人数/参加者数)	84.13%	85.94%	60.53%	↘	令和6年度より、全ての栄養講座でオンライン配信を開始し参加者数は微増した。しかしながらそれと同時に、講座中の途中退出者等によるやアンケート未回答者数が増加した。アンケート回答者の満足度は91.84%（49人中45人）と高水準を維持しているため、今後も引き続き、満足度の高い講座を提供を維持していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
2	出前講座	栄養講座実施回数（歯科講座一部重複）	5回	2回	2回	→	内容としては、母子保健に係る栄養講座を実施。今後は、事業の周知を工夫し、幅広い年代から利用してもらえるように努めるものとする。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
3	天平メニュー・国分寺ごはん事業	クックパッド新規掲載レシピ数	3件	4件	3件	↘	令和6年度は、小学校給食等のレシピ数は更新を行った。今後も、健康教育の充実のために、引き続き市全体として取り組んでいく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
4	市民農園	①農園数、区画数 ②農家開設型市民農園、民間企業開設型市民農園、農業体験農園を含む合計農園数、合計区画数	①4農園、 330区画 ②13農園、 847区画	①4農園、 330区画 ②14農園、 982区画	①3農園、 280区画 ②12農園、 941区画	↘	市民農園については1農園が廃止となり区画数が減少した。一方で、民間企業開設型市民農園、農業体験農園については増加している。	主目的は農園を利用することによる「食育の推進」であることから、現状の評価指標は(公営の)市民農園の区画数としているが、今後については民間企業開設型や農家体験型の区画数も合わせた区画数も併せて表記すべきである。	
5	市民農業大学	受講者数	29人受講 24人修了	30人受講 23人修了	30人受講 25人修了	↗	引き続き、30人の受講を継続できるよう広報していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
6	協働による健康増進の仕組みづくりの検討（再掲）	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集	—	今後、国の動向や他市の状況を注視し取り組みを検討していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	

食育 分野 施策 1 構成事業 事業活動指標 経年変化一覧

No	事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1	栄養講座（再掲）（健康増進法に基づく成人健康教育） 栄養士等による生活習慣病予防等に関する普及啓発講座を開催	参加者アンケートの満足度 「今後の生活の参考にできそうなことは、ありましたか。」との問いに「はい」と回答した数の割合 （「はい」と回答した人数/参加者数）	84.13%	85.94%	60.53%					
2	出前講座	栄養講座実施回数（歯科講座一部重複）	5 回	2回	2回					
3	天平メニュー・国分寺ごはん事業	クックパッド新規掲載レシピ数	3件	4件	3件					
4	市民農園	①農園数、区画数 ②農家開設型市民農園、民間企業開設型市民農園、農業体験農園を含む合計農園数、合計区画数	① 4 農園、 330区画 ②13農園、 847区画	① 4 農園、 330区画 ②14農園、 982区画	① 3 農園、 280区画 ②12農園、 941区画					
5	市民農業大学	受講者数	29人受講 24人修了	30人受講 23人修了	30人受講 25人修了					
6	協働による健康増進の仕組みづくりの検討（再掲）	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集					

第2次国分寺市健康増進計画 基本施策進捗管理シート(対象施策:食育 施策2)

該当分野	食育							
基本目標	健康を支える食を大切にし、食を楽しむことで、食を意識する環境づくりを目指し、ライフスタイルに応じて適切な食習慣の形成を促します。							
該当施策	2：市民が、食育に関心を持つことができるようにするため、各々のライフスタイルに応じて、健康を支える食育を進めることができるよう、外食や中食を上手に活用すること等を含め、食に関する知識や意識、調理技術の向上についての取組など、多角的な視点から食事づくりへの関心を持ってもらえるように情報提供や相談対応を行います。この実施にあたっては、災害時にも活用できることを考慮します。また、市民が利用するコンビニエンスストアやスーパー等の民間企業等と連携し、効果的な実践を目指します。							
施策構成事業の前年度の状況分析（事業対象年度：令和6年度）								
No	事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	当該年度 の傾向 (前年度比)	指標の結果となった分析と 新たな取組の方向性	委員会助言
1	離乳食講習会	受講者数(1回食・2回3回食計)	439人	545人	568人	↗	ぶんど子育てナビでの予約実施。2・3回食の講習会で交流が行えるよう、1回の時間を長くする。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
2	個別栄養相談	相談人数	38人	34人	49人	↗	内容としては、市民の生活習慣課題に対して、改善目標の設定・方法を相談、数か月後場合によっては再度相談をしている。丁寧な相談対応で提案できているため、相談の継続や新規申し込みがある。今後も丁寧な栄養相談をし、引き続き栄養・食育事業等での周知や工夫を行う。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
3	栄養講座（再掲）（健康増進法に基づく成人健康教育） 栄養士等による生活習慣病予防等に関する普及啓発講座を開催	参加者アンケートの満足度 「今後の生活の参考にできそうなことは、ありましたか。」との問いに「はい」と回答した数の割合 (「はい」と回答した人数/参加者数)	84.13%	85.94%	60.53%	↘	令和6年度より、全ての栄養講座でオンライン配信を開始し参加者数は微増した。しかしながらそれと同時に、講座中の途中退出者等によるやアンケート未回答者数が増加した。アンケート回答者の満足度は91.84%（49人中45人）と高水準を維持しているため、今後も引き続き、満足度の高い講座を提供を維持していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
4	栄養講座（生活習慣病予防や生活習慣改善を目的に、各種教室を開催）	参加者アンケートの満足度 (満足+やや満足回答数/参加者数)	—	—	59.21%	—	令和6年度より、全ての栄養講座でオンライン配信を開始し参加者数は微増した。しかしながらそれと同時に、講座中の途中退出者等によるやアンケート未回答者数が増加した。アンケート回答者の満足度は91.84%（49人中45人）と高水準を維持しているため、今後も引き続き、満足度の高い講座を提供を維持していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
5		栄養講座実施回数	5回	4回	4回	→	国の月間等に合わせて実施している。今後も同様に開催し、引き続き、各事業等での周知やその工夫を行う。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
6	民間企業等と連携した朝食摂取の普及啓発	実施	新規	1回	1回	→	株式会社セブンイレブン・ジャパンとの地域活性化包括連携協定を活用し、朝食を促すPOP掲示による普及啓発を実施した。 引き続き、民間企業との連携により普及啓発を実施する。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
7	協働による健康増進の仕組みづくりの検討（再掲）	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集	—	今後、国の動向や他市の状況を注視し取り組みを検討していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。

食育 分野 施策 2 構成事業 事業活動指標 経年変化一覧

No	事業名	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1	離乳食講習会	受講者数(1回食・2回3回食計)	439人	545人	568人					
2	個別栄養相談	相談人数	38人	34人	49人					
3	栄養講座（再掲）（健康増進法に基づく成人健康教育） 栄養士等による生活習慣病予防等に関する普及啓発講座を開催	参加者アンケートの満足度 「今後の生活の参考にできそうなことは、ありましたか。」との問いに「はい」と回答した数の割合 (「はい」と回答した人数/参加者数)	84.13%	85.94%	60.53%					
4	栄養講座	参加者アンケートの満足度 (満足+やや満足回答数/参加者数)	—	—	59.2%					
5		栄養講座実施回数	5回	4回	4回					
6	民間企業等と連携した朝食摂取の普及啓発	実施	新規	1回	1回					
7	協働による健康増進の仕組みづくりの検討（再掲）	協働による健康増進の仕組みづくりの検討	新規	—	情報収集					

第2次国分寺市健康増進計画 基本施策進捗管理シート(健康診査別表)

事業名	事業概要	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	当該年度 の傾向 (前年度比)	指標の結果となった分析と 新たな取組の方向性	委員会助言
健（検）診	健康増進計画に関するアンケート調査における、 最近1年以内に何らかの健康診断・健康診査の受診状況	受診率（血圧、尿検査、血液検査などの健康診断）	84.70%			－	－	
		受診率（胃がん）	39.80%			－	－	
		受診率（肺がん・結核）	61.80%			－	－	
		受診率（大腸がん）	54.40%			－	－	
		受診率（子宮がん）	39.80%			－	－	
		受診率（乳がん）	38.40%			－	－	
健康診断	学校医等による全児童対象の定期健康診断の実施状況	実施の有無	実施	実施	実施	－	今後も継続して事業を行っていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
	就学予定児童を対象とした健康診断の実施状況	実施の有無	実施	実施	実施	－	今後も継続して事業を行っていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
	小学校4年生等の希望者を対象とした生活習慣病予防検診の受診状況 （みなし受診率：受診者数合計／第4学年児童数）	みなし受診率	10.55%	6.51%	6.97%	↗	受診率は、上昇傾向。次年度からは学校での内科検診・身体測定の結果に基づく肥満度（痩せ度）に関する受診勧奨基準を設定し、本検診を紹介、受診することで生活習慣の改善につなげる。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
	中学生希望者を対象とした生活習慣病予防検診の実施状況 （みなし受診率：受診者数合計／中学校生徒数）	みなし受診率	2.46%	2.17%	2.31%	↗	受診率は、上昇傾向。次年度からは学校での内科検診・身体測定の結果に基づく肥満度（痩せ度）に関する受診勧奨基準を設定し、本検診を紹介、受診することで生活習慣の改善につなげる。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
後期高齢者医療 健康診査	75歳以上の健康診査受診状況：受診率	受診率（受診者数/対象者数）	53.60%	51.04%	52.27%	↗	コロナ禍以降実施していた受診期限延長を中止したが、受診率は増加傾向であった。引き続き、勧奨通知の送付や利便性の向上などを工夫していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
健康診査	25歳以上29歳までの国民健康保険加入者の健康診査	受診率（受診者数/国保数）	8.20%	8.90%	9.26%	↗	受診率は増加傾向。引き続き、託児の日を設けるなど、小さい子どもがいても受診できる環境を整え、予約方法の利便性の向上などを工夫していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
	30歳以上39歳までの国民健康保険加入者の健康診査	受診率（受診者数/国保数）	21.50%	22.91%	25.64%	↗	受診率は増加傾向。引き続き、託児の日を設けるなど、小さい子どもがいても受診できる環境を整え、予約方法の利便性の向上などを工夫していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
	若年層健康診査受診者のうち、メタボリックシンドローム もしくは予備群に対し、情報提供を行う。	メタボ予備群率（メタボ予備群数/受診者数）	5.26%	4.76%	3.92%	↘	引き続き、受診結果に情報提供書を同封することで、若年層のうちから、生活習慣病についての意識づけをおこない、生活習慣改善につなげる。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
		メタボ対象率（メタボ数/受診者数）	0.00%	0.00%	0.98%	↗	引き続き、受診結果に情報提供書を同封することで、若年層のうちから生活習慣病についての意識づけをおこない、生活習慣改善につなげる。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
	30歳代健康診査受診者のうち、メタボリックシンドローム もしくは予備群に対し、情報提供を行う。	メタボ予備群率（メタボ予備群数/受診者数）	5.99%	4.00%	6.03%	↗	引き続き、受診結果に情報提供書を同封することで、生活習慣病についての意識づけをおこない、生活習慣改善につなげる。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
		メタボ対象率（メタボ数/受診者数）	1.86%	1.26%	2.07%	↗	引き続き、受診結果に情報提供書を同封することで、生活習慣病についての意識づけをおこない、生活習慣改善につなげる。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
特定健康診査	国民健康保険加入の40歳以上74歳までの特定健康診査	受診率（受診者数/対象者数）	37.82%	38.66%	38.90%	↗	66歳から74歳までの対象者においてコロナ禍以降実施していた受診期限延長を中止したが、受診率は横ばいを維持できた。引き続き、勧奨通知の送付や利便性の向上などを工夫していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
		人間ドック受診者数	410人	399人	420人	↗	人間ドック受診者全体は増加したが、そのうちの特定健診対象者については横ばいであった。受診費用の支払先の市窓口から医療機関への変更、申請方法の電子申請の追加など、利便性の向上を図った。引き続き、市民に受診しやすい環境を提供していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。

第2次国分寺市健康増進計画 基本施策進捗管理シート(健康診査別表)

事業名	事業概要	事業活動指標	ベース ライン値 (R4)	R5	R6	当該年度 の傾向 (前年度比)	指標の結果となった分析と 新たな取組の方向性	委員会助言
特定保健指導	特定健康診査実施者のうち、 特定保健指導の判定基準該当者に 特定保健指導を実施	初回面接実施率（積極的支援） （初回面接者数/対象者数）	13.57%	7.69%	13.22%	↗	積極的支援の初回面談実施率は上昇した。面談の時間帯や場所の工夫やICTの活用など多くの方が実施できるように工夫している。引き続き、市民に面談を受けやすい環境を提供していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
		初回面接実施率（動機付け支援） （初回面接者数/対象者数）	17.43%	15.51%	15.64%	↗	実施率は横ばいである。面談の時間帯や場所の工夫やICTの活用など多くの方が実施できるように工夫している。引き続き、市民に面談を受けやすい環境を提供していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
		人間ドック受診者数	44人	41人	53人	↗	人間ドックを受診する人数は横ばいである。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
がん検診	40歳以上を対象とした胃がん検診	受診率（受診者数/対象者数）	4.45%	4.45%	3.89%	↘	個別勧奨を行ったが、後期の日程は定員に満たず日程を2日間ほど減らした。令和7年度からは、市民からの要望が多かった内視鏡検査を導入し、受診率の向上を図る。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
	40歳以上を対象とした肺がん検診	受診率（受診者数/対象者数）	6.90%	7.07%	6.43%	↘	受診者が年度の後半に集中していたため、受診率は低下傾向。市民が受診しやすい受診環境の整備のため、医師会との協議をおこなうとともに、引き続き、受診者募集の機会と併せて個別勧奨通知を送付するなど、受診率向上を図る。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
	40歳以上を対象とした大腸がん検診	受診率（受診者数/対象者数）	32.14%	31.19%	30.53%	↘	受診率はわずかに低下傾向。引き続き、同時受診が可能な特定健診と併せて勧奨通知を送付するなど、受診率向上を図る。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
婦人科検診	20歳以上の女性を対象とした子宮がん検診	受診率（子宮頸部細胞診） （受診者数/対象者数）	9.57%	10.29%	9.97%	↘	令和3年度から、20歳から40歳の受診対象者に対して、一斉にクーポン券を送付することにより、受診率向上が見られている。引き続き、対象者へクーポン券・個別勧奨通知を送付していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
	40歳以上の女性を対象とした乳がん検診	受診率（受診者数/対象者数）	8.81%	8.47%	8.28%	↘	受診率が停滞しており、市西側地域の利便性向上が課題となっているため、令和7年度から立川市所在の実施医療機関を追加し、さらなる受診率の向上を図る。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
人間ドック検診	30歳以上の対象者に人間ドック・脳ドックを実施	人間ドック受診者数	837人	827人	930人	↗	受診費用の支払先の市窓口から医療機関への変更、申請方法の電子申請の追加など、利便性の向上を図った結果、受診者数の増につながった。引き続き、市民に受診しやすい環境を提供していく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
		脳ドック受診者数	256人	316人	312人	↘	事業を開始（H30～）してから、事業の定着化とともに、受診者数が増加傾向にある。引き続き、市民の申込み手順の利便性向上のため、電子申請を継続する。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。

第2次国分寺市健康増進計画 特定施策進捗管理シート														
①新興感染症も見据えた予防・健康づくりの推進														
施策概要		新興感染症を見据え、既知の感染症に対する予防接種の促進等を図るとともに、感染症対策として、感染症対策物品の備蓄等に努めます												
No	分野成果指標（取組）／目標指標	事業概要	ベースライン値	目標値	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	結果分析と今後の取組の方向性	委員会助言
1	感染症対策の知識の普及・啓発	手洗い等の感染症対策の基本的な知識の普及・啓発を行います。	実施	実施	実施	実施	実施						今後も手洗い等の感染症対策の基本的な知識の普及・啓発を継続するとともに、各種感染症の流行状況に応じた注意喚起を行う。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
2	定期予防接種事業	予防接種法に基づく定期接種を行います。制度改正があった際には、改正後の制度に基づきます。	令和4年度事務報告書における「予防接種事務事業」に記載のとおり。ただし、ポリオIPV、三種混合は除くものとします。	令和4年度の接種率以上。ただし100％以上のものについては、100％以上を維持することを目標とします。	日本脳炎は令和3年度のワクチン供給不足により、令和4年度の接種率が100％を大幅に超えました。	ワクチン供給不足や制度変更があったものを除きほぼ令和4年度並みかそれ以上でしたが、Hib（ヒブ）、小児の肺炎球菌で減少がみられました。	五種混合の定期接種化により四種混合とHibの接種率は減少しましたが、その他の予防接種は概ね令和4年度以上の接種率でした。						各種ワクチンの供給状況や、制度変更等により一概に接種率を比較することはできないが、引き続き対象者への勧奨や広報等により、多くの方に接種をお受けいただけるように努める。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
3	任意予防接種事業	市の独自事業として実施する予防接種のうち、次のものを対象とします。 ①任意高齢者肺炎球菌予防接種 ②任意帯状疱疹予防接種 ただし、制度改正が行われた場合には、改正後の制度によります。	①任意高齢者肺炎球菌予防接種の実施者数（初回接種：44人、2回目以降接種：359人（令和4年度事務報告書））	ベースライン値以上	初回接種：44人、2回目以降接種：359人	初回接種：66人、2回目以降接種：686人	初回接種：80人、2回目以降接種：347人						初回接種の自己負担額は通常4,000円だが、令和6年度のみ東京都の補助金を活用し1,500円とした。令和7年度は自己負担額が再度4,000円となるが、引き続き希望者が接種できる体制を維持する。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
			②任意帯状疱疹予防接種の実施者数 ※令和5年度は事業開始年のため、令和6年度実施者数をベースライン値とします	ベースライン値以上	-	不活化ワクチン1回目接種：2,610人、2回目接種：2,401人、生ワクチン：396人	不活化ワクチン1回目接種：1,042人、2回目接種：1,097人、生ワクチン：128人					令和6年度には市への事前申請を不要とし、より接種しやすい環境を構築した。令和7年度からは帯状疱疹が予防接種法による定期の予防接種となるが、令和7年度は経過措置として50歳以上で法令の対象とならない方に対し任意予防接種制度を継続実施する。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
4	感染症対策の体制の検討・再構築	新型コロナウイルス感染症対策の経験を活かし、国や東京都の動きとも調和をとり、感染症対策の整備・再構築を行います。	新規	①課長会等を通じた保健所との連携体制の充実 ②統括保健師の配置にむけた検討	①6市課長連絡会を通じて、保健所と情報交換を行った。	①6市課長連絡会を通じて、保健所と情報交換を行った。 ②統括保健師の役割のうち、保健師とりまとめを健康推進課で、他を保健師連絡会が補完することとした。	①6市課長連絡会を通じて、保健所と情報交換を行い、多摩立川保健所感染症対応実践型訓練に参加した。 ②R5の検討体制にて業務実施した。						令和6年度は、多摩立川保健所主催の感染症対応実践型訓練に参加し、保健所や関係団体、他自治体等と連携した感染症への対応の確認を行った。今後も訓練等に参加し、連携を深めていく。また、令和8年度に「国分寺市新型コロナウイルス等対策行動計画」の改定を予定しており、国や都の行動計画と整合をとりながら改定作業を進めていく。	進捗状況及び今後の進め方について確認した。
②デジタル技術の活用														
施策概要		健康づくりにおいて、デジタル技術の活用に努め、その促進に取り組みます												
No	取組	目標値 ※令和11年度までの達成を想定したもの	R6	R7	R8	R9	R10	R11	結果分析と今後の取組の方向性				委員会助言	
1	健康増進の促進に向けたアプリ等のデジタル技術の導入	1以上	情報収集						R6年度は、導入に向けた情報収集を行った。その成果も踏まえ、R7年度内に国分寺市健康ポイントアプリ導入に向けて対応を進めている。東京都による「とうきょう健康応援事業」とも連携し、充実を図っていく。				進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
2	健康診査受診の際の手続きのデジタル化	実施	電子申請（Logoフォーム）・健診システム導入済み						健康かるて・Logoフォームによる電子申請など、健康診査に関する事務のうち一部はデジタル化を実施済。医師会との連携の上、実務を精査し、予約システムの導入等に向けて検討する。				進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
3	相談業務におけるAI等のデジタル技術の実装に向けた研究	実施	情報収集						他自治体の取組みなどの情報収集を進める。				進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
③災害医療・災害時保健活動体制の充実・再整備														
施策概要		関係機関とも協議のうえ、災害医療・災害時保健活動体制の充実・再整備を進めます												
No	取組	目標値 ※令和11年度までの達成を想定したもの	R6	R7	R8	R9	R10	R11	結果分析と今後の取組の方向性				委員会助言	
1	新庁舎供用開始及び新たな市地域防災計画を見据えた災害医療及び災害時保健活動のあり方の検討実施	実施	実施						従来から行ってきた備蓄医薬品、資機材の管理を継続して行った。新たな取組として、外部講師の招へいによる研修の実施や、活動に必要な物品の購入等を行った。引き続き、研修実施や物品の購入・更新等を実施し、備えの充実に努める。				進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
2	『（仮称）災害医療救護計画』の策定	策定	検討着手 骨子策定						「国分寺市地域防災計画」、「東京都災害時医療救護活動ガイドライン」等の内容を踏まえ、「（仮称）国分寺市災害医療救護計画」及び「（仮称）国分寺市災害時保健活動計画」の骨子を、令和6年度は決定した。両計画は、令和7年度末までに策定する。				進捗状況及び今後の進め方について確認した。	
3	市及び二次保健医療圏等が主催する訓練への参加	参加率8割以上（出席回数／開催回数）	100%						令和6年度は11回開催があり、全ての訓練に参加した。今後も訓練に参加し、関係する職員の対応能力の研さんを図っていく。				進捗状況及び今後の進め方について確認した。	